

## 2 発達障害等のある幼児児童生徒への適切な支援

- 小・中学校等においては、一人一人の教育的ニーズに応じた教育の実現のため、通常の学級に在籍する児童生徒の個別の指導計画<sup>※</sup>等の作成をさらに推進したり、学校と支援関係者との連絡調整等の役割を担う特別支援教育コーディネーター<sup>※</sup>を中心にした校内委員会<sup>※</sup>を充実させたりするなど、引き続き校内支援体制の整備が必要である。
- 特別支援教育コーディネーターは、特別支援教育を推進していくうえで重要な役割を担っているが、小・中学校等においては校務主任等との兼務になっており、その役割を十分に果たすことができるような条件整備が必要である。
- 幼稚園・小学校・中学校・高等学校における、発達障害等のある幼児児童生徒に配慮した指導・支援について、校内支援体制の整備及び担当教員や特別支援教育支援員等の人的配置など、今後、さらに充実をさせていく必要がある。
- 発達障害等のある幼児児童生徒に対して適切な支援を行うため、専門的な知識や技能を有する特別支援学校免許状保有率、現場教員の研修、教育的支援方法の研究などの充実を図ることが必要である。

小・中学校等における特別支援教育体制整備状況 (H23. 5.1 現在 名古屋市を除く)

区 分	愛知県 [ ] 内は全国 (%)		
	幼稚園	小・中学校	高等学校
校内委員会の設置	72.5 [89.4]	100 [99.9]	100 [98.2]
コーディネーターの指名	100 [92.4]	100 [99.9]	100 [99.3]
個別の指導計画	91.3 [64.2]	92.9 [88.7]	3.4 [24.3]
個別の教育支援計画 <sup>※</sup>	72.5 [46.8]	92.9 [88.7]	6.0 [21.5]
特別支援教育に関する研修の受講教員数	83.9 [84.2]	62.5 [74.1]	73.2 [54.5]

特別支援学級担当者の特別支援学校免許状保有率 (H23)

愛知県 [ ] 内は全国 (%)		
小学校	中学校	合 計
23.8 [32.8]	17.5 [27.0]	21.9 [31.0]

県が小・中学校等を対象に行っている各種研修 (H24)

研 修	研修対象			
	幼稚園	小・中学校	高等学校	市町村教委
発達障害児基礎理解推進研修	○	○	○	
発達障害児専門性向上研修	特別支援教育コーディネータースキルアップ研修	○	○	
	管理職リーダーシップ向上研修		○	
	発達障害児指導事例研究会	○	○	
	通級指導担当者スキルアップ研修		○	
	市町村特別支援教育推進者資質向上研修			○
	地区別特別支援教育コーディネーター研修会			○

県内公立学校等における特別支援教育支援員の配置状況 (H24. 5.1 現在 名古屋市を除く)

幼稚園		小学校		中学校		高等学校	
配置園数	配置人数	配置学校数	配置人数	配置学校数	配置人数	配置学校数	配置人数
50	126	703	1171	178	215	1	1

※個別の指導計画：子ども一人一人の障害の状態等に応じたきめ細かな指導が行えるよう、学校における教育課程や指導計画、当該幼児児童生徒の個別の教育支援計画等を踏まえて、より具体的に教育的ニーズに対応して、指導目標や指導内容・方法等を盛り込んだ指導計画。

※特別支援教育コーディネーター：学校内の関係者や福祉・医療等の関係機関との連絡調整及び保護者に対する学校の窓口として、校内における特別支援教育に関するコーディネーター的な役割を担う者。

※校内委員会：学校内に置かれた発達障害を含む障害のある子どもの実態把握及び支援の在り方等について検討を行う委員会。

※個別の教育支援計画：障害のある子ども一人一人のニーズを正確に把握し、福祉、医療、労働等の関係機関との連携を図りつつ、乳幼児期から学校卒業後までの長期的な視点に立って、一貫して的確な教育的支援を行うために作成した支援計画。